涅 槃 御 和 讃





ポイント注意

歌詞を味わいながらお唱えしましょう。テンポ遅くならないよう に。

^ね ぱん **涅 槃 和 讃**

高津 ときを 作詞

- ① 拘戸那城外 日は落ちて 沙羅の林の 夕まぐれ 数化の道の 涯しなく 世尊は旅に 病み給う
- 7 ああ大聖の 御舎利は 労衛の塔に 納まりつ その遺教は 永久に 法の光と 照りわたる

- 2 双樹の陰に 横たわり 頭を北の 草枕 長老迦葉 待つ程に 草や入滅の 時辛る
- 5 **跋提河の 渡の**普 無常の風の 響きあり 鶴の林の 花の色 輪廻の相を 物語る
- (8) 南無や大悲の 契拠如来五濁の悪世 みそなわし簡路に迷う 我等をばめざめの岸に 名し給え

- ③ **度すべき者を 度し終えて ⑥** 精進せよの 一言を 常随阿難に 残しつつ 大涅槃
- 南無向弥陀仏 向弥陀仏 南無向弥陀仏 向弥陀仏 (九小節目以降の旋律にて)